

印刷技術懇談会 50周年記念講演会

- 日時：5月30日（土）13:00～19:30 （参加者：80名）
- 場所：印刷博物館 研修室 + ハートフルカフェ（Heartful Cafe）



■ プログラム

- ✓ 開会
- ✓ 司会・進行 印刷技術懇談会 幹事長 池田 孝治
- ✓ ご挨拶と活動報告 印刷技術懇談会 会長 林 兼明
 - 「印刷技術懇談会 50 年」
- ✓ 来賓のご挨拶と講演① (株)金羊社 会長 浅野 健氏
 - 「ゲーテンベルグと印刷の歴史」
- ✓ 印刷博物館企画展 見学
 - 「名著誕生展 ヴァチカン教皇庁 図書館Ⅲ+」
- ✓ 講演② 大日本印刷(株) 技術開発センター 杉山 徹氏
 - 「カラーマネジメントの多様な利用」
- ✓ 講演③ (株)KADOKAWA BEC 推進部 五十嵐 健一氏
 - 「大手出版社が進めるデジタル書籍製造」
- ✓ 閉会

ご挨拶と活動報告

印刷技術懇談会 会長 林 兼明

■ ご挨拶

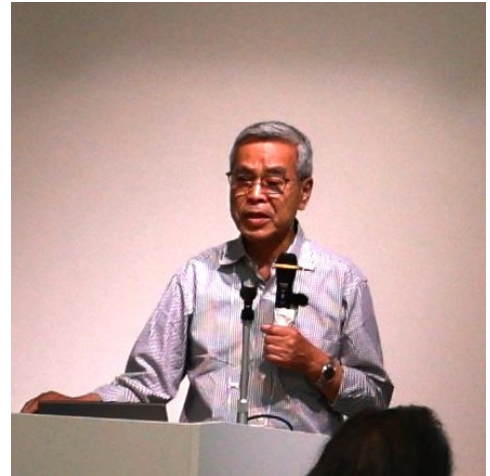
「印刷技術懇談会は1976年7月に活動が始まりました。
月1回の例会を続け、今年2026年5月 **544回、発足50年**
を迎えることができました。

会発足の70年代は活版からオフセット印刷への移行、80年から90年代はアナログ製版からデジタル製版の登場とこの50年は印刷技術の大変革期でもありました。

これまでの544回の活動内容は、アナログからデジタルへ移行する技術知識の学習に留まらず、印刷ビジネスの変遷や最新テクノロジーの学習など、極めて多岐にわたっています。

この懇談会は、東京工芸大学・工学部・短大部印刷系卒業生を主体として誕生しましたが、現在では大学の枠を超えた**リスキリングの場として**、印刷技術に関心がある幅広い方々が参加する情報発信基地となっています。

これからも、変化する技術知識を学習する印刷技術懇談会の活動にご注目下さい。」



活動報告

■ 印刷技術懇談会の発足、例会と参加人数

印刷技術懇談会

印刷技術懇談会は、1976年7月の発足以来、
*毎月1回(年11回)の例会を継続的に開催し
ており、2026年5月には通算****545回****を迎
えました。
年11回の月例会に**平均30名**の参加者があり
ました。
50年で凡そ**16,500名の方々**の参加がありました。

- 奥山 滋先生（初代会長 東京工芸大学 工学部教授）と5周年記念講演会
 - ✓ 奥山先生は、この勉強会が発足して25年間会長を務めた。（50周年の半分の期間）
 - ✓ （下写真左側）：奥山先生、（右側）5周年記念講演会の様子（@神楽坂のエミール）

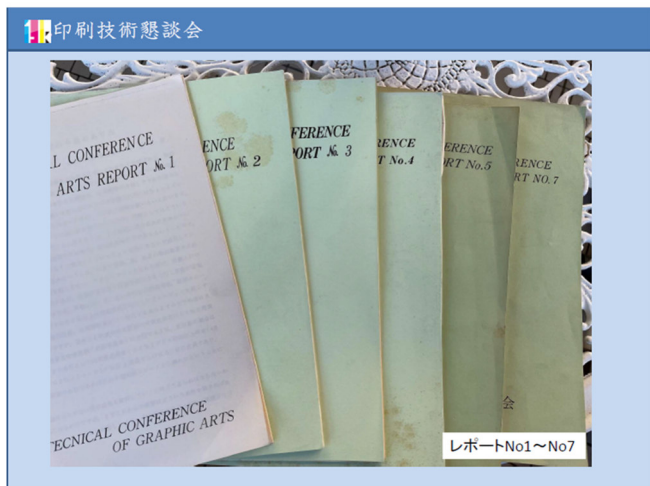


- 最近の活動の様子
 - ✓ 会場：(株)モトヤ東京本社 7F 会議室



■ 聴講記録

- ✓ 初期レポート（林会長が作成）（No.1～No.7）
- ✓ しかし、No.7 まででストップした。（自分で、録音テープを聞いて、記録し、文字起こしをして、印刷し製本まで行った）
- ✓ （下写真左側）初期のレポート、（右側）最近のレポート



■ 月例会テーマから見える印刷技術の変化・革新

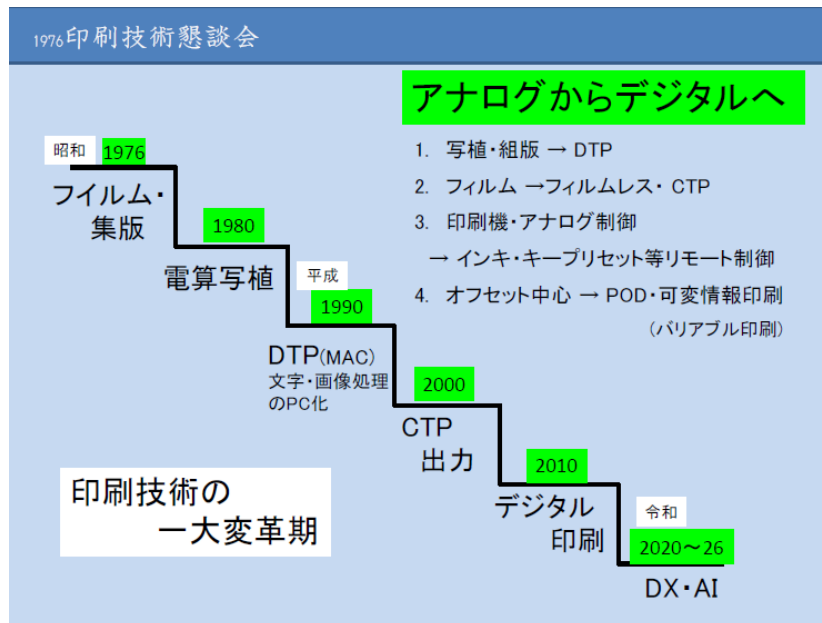
- ✓ 発足当時（1976 年～1978 年）
 - フィルム製版
 - スキャナー
 - PS 版材
 - レタッチ
 - リス現像
- ✓ 20 年後（1996 年～1998 年）
 - 文字・画像処理
 - CTP
 - CIP3

1976 印刷技術懇談会			
1976～1983 発足当時のテーマ		1976～78 フィルム製版 ・スキャナー ・PS版材 ・レタッチ ・リス現	
No	年/月	講演テーマ	講
1	1976年7月	印刷研究会スタート「色彩について」	色彩研究所・
2	1976年8月	スキャナーの現状	プロセス資料・伊藤氏
3	1976年9月	ビームインキの動向	東洋インキ・徳川氏
4	1976年11月	製版材料の動向	Agfa・本多氏
5	1976年12月	平版版材の技術予測	富士薬・三嶋氏
6	1977年1月	77年の活動方針	幹事・林
7	1977年2月	レタッチ仕上げ方法	三浦印刷・三浦氏
8	1977年3月	白黒・カラーのカメラワーク	長瀬産業・寺島氏
9	1977年4月	印刷会社経営の問題点	紅屋・今井氏
10	1977年5月	各社スキャナーの特性	三浦印刷・遠藤氏
11	1977年6月	印刷研究の方向	東京工芸大・奥山先生
12	1977年7月	ドルツバ展に参加して	東京工芸大・八方先生
13	1977年9月	MDSシステムについて	ヤマトヤ商会・沖氏
14	1977年10月	樹脂版の現状と方向	旭化成・山下氏
15	1977年11月	役員会	
16	1977年12月	刷色の研究	東京工芸大・波多先生
17	1978年1月	写真製版の動向	東京工芸大・奥山先生
18	1978年2月	HSシステム	プロセス資料・石井氏
19	1978年3月	最新印刷材料	東京工芸大・平石先生
20	1978年4月	カラーコピーについて	チバガイギー・高西氏
21	1978年5月	単純製版システムについて	東京工芸大・森島先生

1976 印刷技術懇談会 1996～1998 20年後			
222	1996年10月	MACによる文字組版環境の改善	DS・SI課・柿田氏
223	1996年11月	MACによる画像環境の改善	DS・SI課・井上氏
224	1996年12月	Windowsと製版	
225	1997年1月	文字・画像処理の基礎知識	奥山会長
226	1997年2月	20周年①組版の歴史とデジタル化②21世紀の写真・印刷	コニカ・井出氏
227	1997年3月	Page97の動向	モリサワ 社長
228	1997年4月	CTPの技術動向	富士・印刷システム 原氏
229	1997年5月	CTPの技術動向と実演	水上印刷・南瑞氏・DS雨森氏
230	1997年6月	サーマルCTPについて	日本Kodak・近藤氏
231	1997年7月	インプリンタ97の技術動向	Jagat・相馬氏
232	1997年9月	DDCPとCTP	奥山会長
233	1997年10月	IGASの技術動向	コンサルタント 大門氏
234	1997年11月	CIDフォント	モリサワ
235	1997年12月	CIP3 インキリモート	ハイデル 水野氏
236	1998年1月	ブリブレスの技術動向	DS・鶴谷氏
237	1998年2月	印刷用紙の動向	吉川紙商事・吉中氏
238	1998年3月	Page98の技術動向	Jagat・小笠原氏

■ 印刷技術の「一大変革期」

- ✓ 「アナログからデジタル」への時代
- ✓ 印刷技術懇談会の50年の活動とピッタリ重なる。



■ 支援企業様への感謝

1976印刷技術懇談会

長くご支援頂いた会社名

真興社、松村シール、水上印刷、望月印刷、錦精社、大日本スクリーン、金羊社、小森コーポレーション、モリサワ、日本平版、太平社、文唱堂印刷、ハイデルベルグジャパン、ヤマトヤ商会、プロセス資材、太陽堂封筒、各社様。

50周年記念講演会に協賛頂いた会社名。

トッパン、印刷博物館、モリサワ、望月印刷、研友社印刷、金羊社、モトヤ、富士フィルム、大塚商会、大日本印刷、各社様。

ご支援頂き有難うございました。

祝 電

■ 株式会社モリサワ 相談役 森澤嘉昭氏より

(代読 同社部長 滝下氏)

✓ 森澤相談役は東京写真短期大学(現東京工芸大学)第2期生

✓ お祝いのメッセージ

「印刷技術懇談会が、輝かしい50周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

長年に渡り印刷技術の探求と研鑽、並びに人と人との結びつきを育てこられた歩みは、誠に意義深いものと存じます。

私もまた草創期にこの会に加えていただいたご縁を有する者として深い感慨を覚えております。

ご列席かなわぬことは残念ですが、皆様のご健勝と懇談会の尚いっそうのご隆盛を記念いたします。 株式会社モリサワ 相談役 森澤嘉昭」

